

平成15年度新規箇所 評価結果

事業名		新発田駅前土地区画整理事業		都市名	新潟県 新発田市	
施行者		新発田市		施行面積	11.4ha	
事業概要		施行面積：11.4ha、総事業費：8,303百万円、基本事業費：2,403百万円、権利者数：131人、 要移転戸数：74戸、合算減歩率：35.3(8.2)％、都市計画道路：W=1,175.8m, W=16.0～21.0m(4 路線)、区画道路：L=1,134.4m、特殊道路：L=42.7m、公園・緑地：18,536.4㎡(3箇所) ※減価補償金地区				
目的・必要性		本地区は市の中心市街地として商業・業務地が形成される地区であり、駅前にふさわしい土地利用を図り、 本市の新しい顔づくりが求められている。このため本事業により、商店街再編による中心市街地の活性化、 生活するまちの実現、県立新発田病院の救急医療機能を十分に発揮できる道路網の整備、遊休土地の利用拡 充等を図り、市街地の問題点を解決するとともに、にぎわいのあるまちを創出することを目的としている。				
費用 便 益 比	B/C	総便益		総費用		基準年
	1.71	26.61 億円		15.60 億円		平成
		走行時間短縮便益：	23.43 億円	事業費	14.76 億円	15年
		走行費用減少便益：	2.09 億円	維持管理費	0.83 億円	
交通事故減少便益：	1.09 億円					
効果等		本事業の整備効果として、次のものがあげられる。①都市計画道路の整備による交通円滑化、②県立新発田病院移転による高度医療・福祉的な施策の強化、③交通結節点(駅前広場)の拡充によるターミナル機能の強化、④遊休土地利用の集約と大規模遊休地の利用による土地利用の増進、⑤商店街の再編による活性化、集約化、賑わいの広場空間の創出、⑥街区再編による防災性の向上、不燃化建築物の対応、⑦バリアフリーや景観に配慮したゆとりの空間創造				
関係自治体等の意見		本地区は、市が策定した「中心市街地活性化基本計画」に、シンボルとなる新発田駅前空間づくりを図り、中心市街地の主要ゾーンとしての位置づけを行っており、都市の骨格の形成を図るため早期事業化を図る必要性が高い地区である。				
事業概要図						